

農 研 速 報

令和7年 11 月 27 日発行

茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室
〒301-0816 茨城県龍ヶ崎市大徳町 3974
TEL 0297-62-0206 FAX 0297-64-0667

水稻の生育状況(11 月 20 日現在、龍ヶ崎市)

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
茨城県 (龍ヶ崎市)	4月 24 日	「あきたこまち」 105	<p>4月第6半旬～7月第4半旬は、平均気温は平年差+1.2℃、日照時間は平年比 107%で推移した。特に、6月第4半旬～7月第4半旬は、平均気温は平年差+2.7℃、日照時間は平年比 153%で推移した。出穂期は「あきたこまち」で4日早い7月7日、「ふくまる SL」で5日早い7月9日、「コシヒカリ」で3日早い7月18日だった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後 20 日間の平均気温及び積算日照時間は、「あきたこまち」では 27.4℃(平年差:+1.5℃)、158 時間(平年比:134%)、「ふくまる SL」では 27.3℃(同+1.9℃)、162 時間(同 102%)、「コシヒカリ」では 28.5℃(同+1.7℃)、201 時間(同 110%)だった。出穂後 21 日から成熟期にかけては、「あきたこまち」では 27.8℃(平年差: +0.3℃)、161 時間(平年比:92%)、「ふくまる SL」では 27.8℃(同+0.3℃)、157 時間(同 89%)、「コシヒカリ」では 28.0℃(同+0.6℃)、124 時間(同 98%)だった。成熟期は「あきたこまち」及び「ふくまる SL」では平年より1日早く、「コシヒカリ」では4日早かった。</p> <p>【あきたこまち】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長がやや長く、穂長が長く、穂数が少なく、倒伏程度がやや大きかった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が少なく、一穂粒数がかなり多く、千粒重が重く、登熟歩合が低く、精玄米重はやや多かった(平年比 105%)。 玄米外観品質は、平年と比較して背白粒が多かった。整粒歩合は平年差-1.9%だった。</p>
		「ふくまる SL」 107	<p>【ふくまる SL】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長が平年並、穂長が長く、穂数が少なく、倒伏程度は平年並みだった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が少なく、一穂粒数がかなり多く、千粒重が重く、登熟歩合が低く、精玄米重はやや多かった(平年比 107%)。 玄米外観品質は、平年と比較して背白粒、基白粒が多かった。整粒歩合は平年差-2.4%だった。</p>
		「コシヒカリ」 100	<p>【コシヒカリ】 成熟期の生育は、平年と比較して稈長がかなり長く、穂長がやや長く、穂数が平年並、倒伏程度が平年並だった。 収量構成要素は、平年と比較して穂数が平年並、一穂粒数がやや多く、千粒重が平年並、登熟歩合が低く、精玄米重は平年並だった(平年比 100%)。 玄米外観品質は、平年と比較して背白粒が多く、基白粒が少なかった。整粒歩合は平年差+0.8%だった。</p>

地域名	移植時期	収量平年比(%)	作柄概況
	5月7日	「コシヒカリ」 113 「にじのきらめき」 121 (前年比)	<p>5月第2半旬～7月第6半旬は、平均気温は平年差+1.4℃、日照時間は平年比 115%で推移した。特に、6月第4半旬～7月第6半旬は、平均気温は平年差+2.4℃、日照時間は平年比 152%で推移した。出穂期は「コシヒカリ」で平年より2日早い7月 25日、「にじのきらめき」で7月 26 日だった。</p> <p>登熟期間の気象について、出穂後 20 日間の平均気温及び積算日照時間は、「コシヒカリ」では 27.8℃(平年差: +0.3℃)、152 時間(平年比:94%)、「にじのきらめき」では27.8℃(平年差: +0.3℃)、150 時間(平年比:92%)だった。出穂後 21 日から成熟期にかけては、「コシヒカリ」で 28.7℃(平年差: +2.2℃)、193 時間(平年比:141%)、「にじのきらめき」で 28.3℃(平年差: +2.0℃)、208 時間(平年比:144%)だった。成熟期は「コシヒカリ」で平年より1日早い9月5日だった。</p> <p>【コシヒカリ】 成熟期の生育は、稈長が平年並、穂長がやや長く、穂数が平年並、倒伏程度は平年並だった。 収量構成要素は、穂数が平年並、一穂粒数がやや多く、千粒重がやや重く、登熟歩合がやや高く、精玄米重は多かった(平年比 113%)。 玄米外観品質は、平年と比較して背白粒が多く、心白粒が少なかった。整粒歩合は平年差±0.0%だった。</p> <p>【にじのきらめき】(前年比) 成熟期の生育は、稈長がかなり長く、穂長が前年並、穂数が多く、倒伏程度は前年並だった。 収量構成要素は、穂数が多く、一穂粒数が多く、千粒重が前年並、登熟歩合が前年並、精玄米重は極めて多かった(前年比 121%)。 玄米外観品質は、おおむね前年並だった。整粒歩合は前年差-0.2%だった。</p>

水 稲 の 生 育 状 況

表 1 移植時期・品種別の生育・収量（龍ヶ崎市）

移植 時期 (月日)	品 種	出穂期			成熟期			稈 長			穂 長			穂 数			倒伏程度		
		本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (月日)	前年差 (日)	平年差 (日)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (cm)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (本/㎡)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (0～5)	前年差	平年差
4/24	あきたこまち	7/7	+1 (7/6)	-4 (7/11)	8/19	+5 (8/14)	-1 (8/20)	89	107 (83)	103 (86)	19.4	105 (18.5)	107 (18.2)	469	106 (441)	93 (504)	3.0	+2.0 (1.0)	+0.9 (2.1)
	ふくまるSL	7/9	±0 (7/9)	-5 (7/14)	8/21	+5 (8/16)	-1 (8/22)	85	105 (81)	102 (83)	20.4	104 (19.6)	107 (19.0)	468	105 (446)	93 (503)	3.5	+2.0 (1.5)	+0.5 (3.0)
	コシヒカリ	7/18	+2 (7/16)	-3 (7/21)	8/25	+5 (8/20)	-4 (8/29)	103	111 (93)	111 (93)	19.9	98 (20.3)	101 (19.7)	434	104 (416)	99 (437)	3.3	+1.3 (2.0)	+0.2 (3.1)
5/7	コシヒカリ	7/25	±0 (7/25)	-2 (7/27)	9/5	±0 (9/5)	-1 (9/6)	98	103 (95)	102 (96)	20.4	100 (20.4)	106 (19.3)	435	113 (385)	100 (433)	3.0	-1.0 (4.0)	-0.2 (3.2)
	にじのきらめき	7/26	±0 (7/26)	- (-)	9/10	+3 (9/7)	- (-)	83	109 (76)	- (-)	21.8	102 (21.4)	- (-)	459	110 (416)	- (-)	0.0	±0 (0.0)	- (-)

移植 時期 (月日)	品 種	精玄米重			一穂粒数			㎡当たり粒数			千粒重			登熟歩合		
		本年 (kg/a)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (100粒)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (g)	前年比 (%)	平年比 (%)	本年 (%)	前年差 (%)	平年差 (%)
4/24	あきたこまち	64.0	111 (57.7)	105 (60.9)	83.3	109 (76.6)	115 (72.4)	390	115 (338)	107 (364)	22.2	104 (21.4)	107 (20.8)	74.3	-6.3 (80.6)	-7.3 (81.6)
	ふくまるSL	70.2	111 (63.2)	107 (65.5)	79.1	108 (73.1)	115 (68.9)	370	113 (326)	108 (343)	25.1	105 (24.0)	107 (23.5)	77.0	-4.6 (81.6)	-5.7 (82.7)
	コシヒカリ	60.5	99 (61.4)	100 (60.2)	85.1	110 (77.7)	107 (79.3)	369	114 (323)	106 (349)	21.3	98 (21.8)	101 (21.0)	77.0	-10.6 (87.6)	-6.0 (83.0)
5/7	コシヒカリ	65.5	116 (56.5)	113 (57.9)	80.4	97 (82.6)	105 (76.5)	349	110 (318)	104 (337)	21.9	102 (21.5)	104 (21.1)	86.1	+3.3 (82.8)	+3.5 (82.6)
	にじのきらめき	81.6	121 (67.2)	- (-)	92.4	111 (83.0)	- (-)	424	123 (346)	- (-)	22.8	99 (23.0)	- (-)	84.5	-1.2 (85.7)	- (-)

注) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価、カッコ内の数値は前年または平年の実測値

平年値：令和2年～令和6年の5年間の平均値。ただし、ふくまるSLの平年値は、令和2年はふくまるのデータを使用した。

表2 移植時期・品種別の玄米外観品質（龍ヶ崎市）

移植時期 (月日)	品 種	整粒歩合 (%)			青未熟粒 (%)			乳白粒 (%)			心白粒 (%)			背白粒 (%)			基白粒 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/24	あきたこまち	76.5	+0.1	-1.9	1.3	±0	-0.1	4.1	-0.9	+0.1	1.2	-1.3	-0.1	10.3	+3.3	+4.0	2.8	+0.6	-0.5
			(76.4)	(78.4)		(1.3)	(1.4)		(5.0)	(4.0)		(2.5)	(1.3)		(7.0)	(6.3)		(2.2)	(3.3)
	ふくまるSL	80.5	+3.5	-2.4	2.1	-0.5	-0.3	4.2	+1.0	+1.2	1.0	-1.3	±0	3.1	-1.3	+1.7	2.5	+1.2	+1.7
			(77.0)	(82.9)		(2.6)	(2.4)		(3.2)	(3.0)		(2.3)	(1.0)		(4.4)	(1.4)		(1.3)	(0.8)
	コシヒカリ	68.3	-1.3	+0.8	1.4	+0.6	+0.4	8.7	+0.7	-1.8	1.1	-1.9	-1.0	9.7	+2.4	+3.9	4.4	+1.1	-2.0
			(69.6)	(67.5)		(0.8)	(1.0)		(8.0)	(10.5)		(3.0)	(2.1)		(7.3)	(5.8)		(3.3)	(6.4)
5/7	コシヒカリ	65.8	±0	±0	1.4	+0.9	-0.2	6.4	-0.2	-1.4	0.6	-3.0	-3.8	14.0	+3.8	+5.3	5.1	-0.1	+0.1
			(65.8)	(65.8)		(0.5)	(1.6)		(6.6)	(7.8)		(3.6)	(4.4)		(10.2)	(8.7)		(5.2)	(5.0)
	にじのきらめき	79.6	-0.2	-	1.5	+0.8	-	4.1	+1.6	-	1.0	-0.9	-	4.4	±0	-	1.9	+1.2	-
			(79.8)	(-)		(0.7)	(-)		(2.5)	(-)		(1.9)	(-)		(4.4)	(-)		(0.7)	(-)

移植時期 (月日)	品 種	腹白粒 (%)			その他 (%)		
		本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差
4/24	あきたこまち	1.5	+0.8	+0.9	4.3	-1.7	-2.0
			(0.7)	(0.6)		(6.0)	(6.3)
	ふくまるSL	2.2	+0.3	+0.5	5.7	-2.5	-1.5
			(1.9)	(1.7)		(8.2)	(7.2)
	コシヒカリ	0.8	-1.4	-1.4	7.3	+0.8	+1.4
			(2.2)	(2.2)		(6.5)	(5.9)
5/7	コシヒカリ	0.5	-0.6	-1.4	7.9	-0.6	+1.5
			(1.1)	(1.9)		(8.4)	(6.4)
	にじのきらめき	0.3	-0.2	-	8.3	-1.9	-
			(0.5)	(-)		(10.1)	(-)

注1) カッコ内の数値は前年または平年の実測値

注2) 玄米外観品質は目視による調査。その他は、被害粒・着色粒・死米等を合計したもの
複合的に白未熟粒が発生したため、数値の合計が100を超えている

注3) 倒伏程度：0（無）～5（甚）の6段階評価 注4) 平年値：令和2～令和6年の5年間の平均値

【栽培概要】

1. 苗質：稚苗

2. 植え付け本数：5本/株

3. 栽植密度 あきたこまち・ふくまるSL 18.5株/㎡, コシヒカリ・にじのきらめき 15.2株/㎡

4. 基肥量 あきたこまち N：P₂O₅：K₂O = 0.7：0.7：0.7(kg/a)

ふくまるSL N：P₂O₅：K₂O = 0.8：0.8：0.8(kg/a)

コシヒカリ N：P₂O₅：K₂O = 0.6：0.6：0.6(kg/a)

にじのきらめき N：P₂O₅：K₂O = 1.0：1.0：1.0(kg/a)

5. 追肥時期および追肥施用量

(4月24日移植) あきたこまち 6月26日 N：K₂O = 0.3：0.3(kg/a)

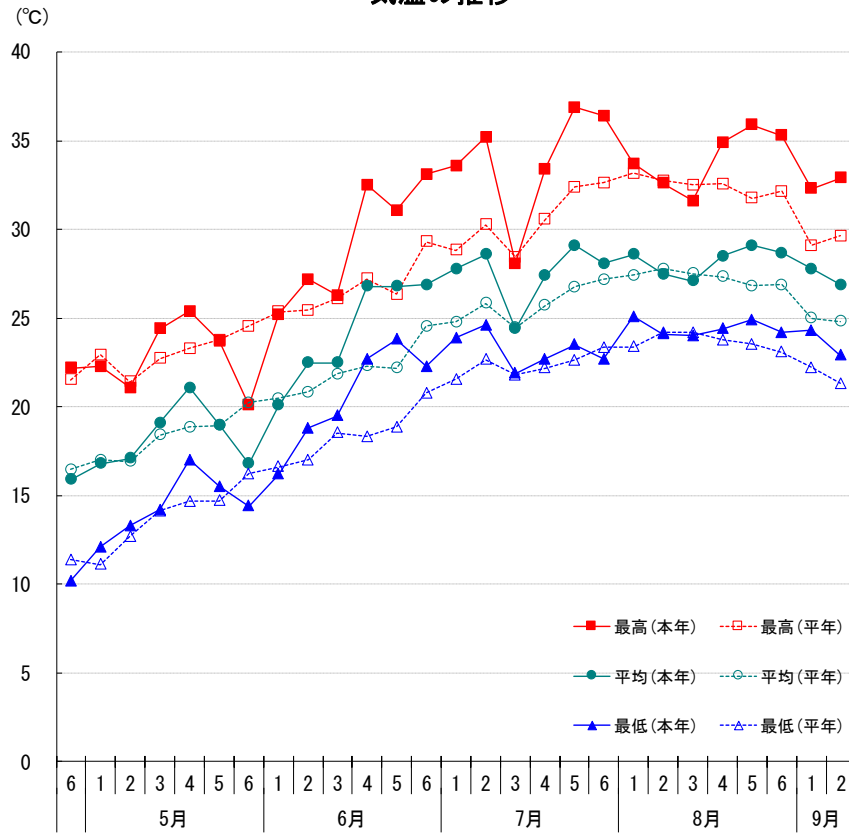
ふくまるSL 6月26日 N：K₂O = 0.4：0.4(kg/a)

コシヒカリ 7月3日 N：K₂O = 0.3：0.3(kg/a)

(5月7日移植) コシヒカリ 7月8日 N：K₂O = 0.3：0.3(kg/a)

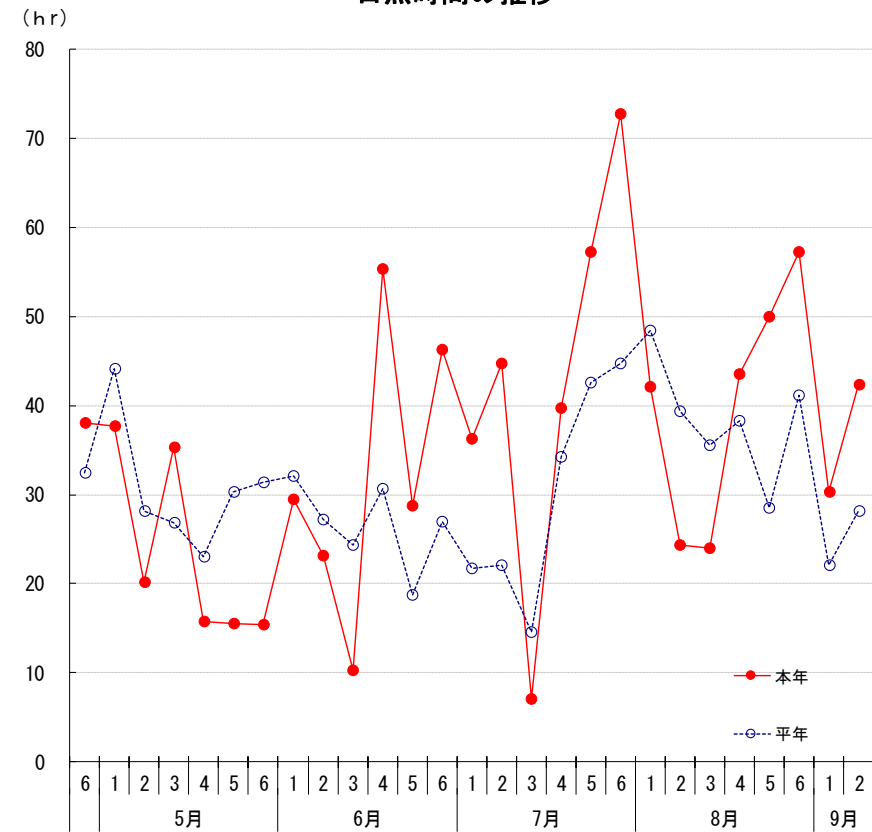
にじのきらめき 7月8日 N：K₂O = 0.3：0.3(kg/a)

気温の推移



注) 平年値: 令和2年～令和6年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成

日照時間の推移



注) 平年値: 令和2年～令和6年の5年間の平均値
アメダス龍ヶ崎観測所データより作成